

だんだん通信

2016
6月号

だんだん通信は、365日オープンのだんだんテラスで起きている日々のできごとや地域の情報を発信するための通信紙です。

寄りみち、通りみち

まちを歩き、よくよく目を凝らすと、
普段とは違う景色に出会うことがあります。
私は猫の通り道だと想像しました。
みなさんは、何に見えますか？
何でもない、生け垣の写真です。

男山 やってみよう会議

みんなでアイデアを持ち寄る

住みたい、住み続けたい男山地域であるために、幅広い世代が集い、まちづくりについて話し合い、具体的な取組みを重ねる「男山やってみよう会議」第17回目となる5月のやってみよう会議では、チームが抱えている課題をみんなで考えてみました。



「昔、田舎芝居というのがあった。子どもや年寄りが集まってみんなでヘタな芝居を楽しむ文化があった。」そんな話がきっかけとなって、新たなチーム「田舎芝居チーム」が立ち上がりました。男山に住む人たちで、集まって、「一座を結成する」という目標を立て、現在仲間を探しています。田舎芝居に出演したことがある人、脚本を書いたことがある人、将来役者として活躍することを夢見る人、大道具や衣装がつくれる手先の器用な人、とにかく田舎芝居を楽しみたい人は、是非一座にご協力ください！



日程 6/18,7/16*, 8/20, 9/17, 10/15, 11/19, 12/17, 1/21, 2/18, 3/18

時間 13:00~15:00 場所 男山公民館 3階大会議室 ※7月は生涯学習センターで開催

- 見学・参加を希望される方は、だんだんテラス事務局【辻村】までご連絡ください。
- 会議の様子や内容は、だんだんテラスのFacebookページにてご覧頂けます。

Bさん (UR男山団地高層棟在住)

第23回 **だんだんテラスと私**

だんだんテラスにはオープンの時から来ています。いつもの散歩道を歩いていると、お好み焼き屋があったところに学生がいて、「男山の事を知りたい」と言っていたので、散歩の途中で良く話しをしていました。大阪からきた大学生だと言う事を知り、自分も大阪で働いていたので色々話が合いました。
15歳から料理職人として働いていました。こちらに移り住んでからは、中央センターにあった市場でお好み焼きを焼いて、冬はおでんや回転焼きを売っていました。朝、自分が味付けをして、売るのは嫁さんに任せて、本町まで働きに出ていました。
特急電車も止まらない、ちっちゃい駅だった樟葉駅までは、バスを使わず歩いて通っていました。そのおかげで足腰は今でも丈夫です。
その時代は、働いて働いて、呑んで呑んでばかりでした。今は、だんだんBARでちよっと一杯呑むのが楽しみです。

青嵐 離れたくなき人の去る
真沙

■ 予定

※今年度はじめて

毎月8日手作り市 and フリマ

時間: 10:00~15:00
場所: 男山中央センター商店街 (だんだんテラス前)

内容: ものづくりをする人、手作り品が好きなのが地域で交流できる場づくりを目的として手作り市を開催します。

住まいの相談会

実施日: 6月11日、25日(土)

時間: 14:00~17:00

主催: だんだんテラス × 京都府建築士会

場所: だんだんテラス

申込: 不要

内容: 住まいに関する相談に京都府建築士会の方が専門家の目線でアドバイスをします。

だんだん朝市

実施日: 毎週火・木・日曜日

時間: 10:00~完売まで

だんだん Dang Dang BAR

実施日: 毎月第2、第4金曜日

時間: 18:00~21:00

ラジオ体操

主催: だんだんテラスの会

実施日: 毎日

時間: 10:00~

ハガキ絵教室

実施日: 毎月第2、第4月曜日

時間: 10:30~11:30

参加費: 600円

のら猫不妊手術相談会

主催: 八幡地域ねこを考える会

実施日: 毎月第3木曜日

時間: 13:00~16:00

■ 求人

※あと若干名

だんだん通信の配布お手伝い

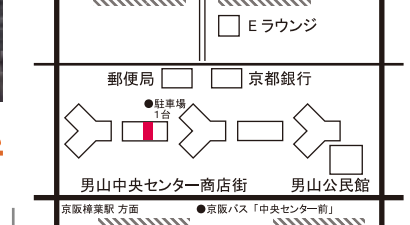
希望される時間、範囲をご相談下さい。

期間: 毎月月初め

時間: 1日2時間(1日程度)

範囲: 男山団地内(賃貸・分譲)

謝金: あり



だんだんテラス

住所: 京都府八幡市男山八望 3-1 B47-104

男山中央センター商店街

アクセス: 京阪バス「中央センター前」下車

Eメール: dandan.terrace@gmail.com

だんだん通信 6月号

発行日: 2016年6月1日

発行元: だんだんテラスの会

編集: 辻村修太郎 / 団地再編プロジェクト

橋本 祐紀 / 関西大学大学院

中居 節子 / 住民記者

自分で住まいを 住みよく変える

男山地域のまちびらきから、40年以上が経過しました。入居開始当初は背の低かった木々も大きく成長し、緑豊かな住環境は、地域の価値となっています。一方、長年この地域に住み続けてきた世代は高齢者となり「今後もここで生活を続けて行くには、少し不便なことも増えてきた」という声も、だんだんテラスに寄せられます。

階段の登り降りが困難となり5階から1階へと移り住む方、家族構成の変化に伴い、団地から戸建住宅へ、戸建住宅から団地へと移り住む方もいます。地域内での住み替えは、大部分を賃貸住宅が占める男山地域の特徴です。

だんだんテラスでは、月2回「住まいの相談会」を開催しています。住みよく暮らす方法を専門家と一緒に考え、地域で共有することが大きな目的です。引っ越しや改修の資金をかけず、「整理整頓」「毎日の掃除」というような「心がけ」で住みよくすることも方法の1つですね。



毎月2回 住まいの相談会を 開催しています！

京都府建築士会に所属する専門家（建築士）が、男山地域の団地や戸建て住宅にお住まいの方を対象に、住まいのお悩みについてお答えいたします。

昨年度は、分譲団地住戸の改修相談や賃貸団地住戸の現状回復義務に関する相談、お風呂やキッチンの換気扇の取付け、襖の張り替えといった、日常生活でちょっと不便に思うことの相談もたくさんありました。

団地北側の和室を 茶道を楽しむ空間にしたい

男山笹谷
団地住まいのAさん

「日本のいぐさを使った畳」「アルミサッシを隠す障子」と全体の予算から改修箇所を絞り、「本物」にこだわった茶室空間へと改修されました。「改修をきっかけに、いらなくなったものを処分したい」と身の回りの整理にも取組まれていました。最小限の改修で最大限の効果を得ることがポイントですね！



老朽化した藤棚を解体 自分たちで直して使う

男山松里
戸建住宅住まいのBさん

庭の藤棚が、老朽化していたので解体をお手伝いしました。Bさんが設計した藤棚なので、材料や施工方法も全て把握されていました。「一人での作業は、危険も伴うと思った」ということで、大工さんにも来て頂き、一緒に施工をしました。



大人も子どもも一緒にごはん

「食事を通じて地域で顔馴染みを増やそう」そんな想いで始まった子ども食堂！

子ども達だけでなく、お年寄りの方もたくさん参加してくれています。

毎月第1日曜日、UR男山団地中央センター商店街内にて定期的に開催しています！



開催前日には子どもたちと一緒に折り紙で鯉のぼりをつくり、飾り付けをしました！

男山 新住民の つぶやき

新連載

2015年11月末に主人と二人で男山に引っ越してきました。URを捜してここにしたのは、空気よき、水のよき（半分地下水、半分京都府の上水）よくあいたつてくれる子供達、屋外の魅力、それと団地の明るさです。

男山のことを知りたくて、4月23日の「男山やってみよう会議」に出してみました。そこでURの取り組みを中心に、だんだん通信にコラムを書いてみることにしました。何回続か、気負わず続けてみたいと思います。よろしくお願ひします。

さてこの写真はどこでしょうか？

ここはUR多摩平の団地再編の試みの一面で、URの古い住棟を民間の事業者さんが再活用している住宅だそうです。ベランダ側に花壇、横の一角に共同の野菜ガーデン、ちょっとした使われない木の芽や大葉、パセリ、三つ葉のような野菜を育てて夕食の彩りにする。その棟の希望者の人が世話をするなんてことになったら楽しみも増え、生活にうるおいと変化が生まれそうです。子育て中の若い人にも気に入ってもらえるでしょうか。

AURA 243 多摩平の森（東京都日野市）

入居ターゲットは20代からシニア層までの2人暮らし。
1階は約50平米の前庭に玄関のある「ヤードハウス」。
2階から4階は約15畳のリビングダイニングを中心とした1LDKの「ひなたぼっこハウス」。併設された菜園や庭をレンタルし、アウトドアな趣味や子育てを自然の中で楽しむ暮らしを提案しています。

